

学校の詩

うた

令和2年9月発行 学校便り

学校の教育目標 自律貢献

文責：校長 藤井浩彦

◆中間考査が終わりました

2学期の中間考査が終わりました。9教科ということでテスト勉強も大変だったのではないかと思います。特に、1年生にとっては、はじめての9教科のテストでした。今回のテストを終え、しっかりと振り返り、次回へ生かしてもらえたらと思います。しっかりと振り返るといのは、点数がいい・悪いというところでの判断ではありません。どこがわかっていて、どこができていないのか。また、今回のテスト勉強でよかったところ、反省すべきところはどこか。さらには、日頃の授業中の取り組み方、家庭学習はどうだったのかなどをしっかりと振り返ることが大切だと思います。どう改善していくのがを考え、実行していくことです。改善し、粘り強く取り組んでいくことが自分を成長させることに繋がると思います。



【1年生 試験中の様子】

◆新入大会が始まります！

無観客ではありますが、9月26日より筑紫地区中体連の新入大会が始まります。新チームになってから初めての大会となります。3年生のひたむきな姿からたくさんのお話を学んだ1、2年生は毎日、一生懸命練習に取り組んでいます。「先輩達に負けないように・・・」、「先輩達の分まで・・・」そんな気持ちでひたむきに練習しているのではないかと思います。今、持っている力を十分に発揮し、次に繋がる戦いをしてほしいと思います。

9月26日・27日より始まる部活動については、中間考査期間中も、1時間程度の練習をしていました。子ども達には、御陵中生としての誇りをもって、試合に臨む姿勢（一生懸命さ・諦めない気持ち・フェアプレー等）はもちろんのこと、挨拶や礼儀・マナーなど試合以外のところでも「御陵中生は素晴らしい！」と言われるような態度で頑張ってきてくれることを願っています。

保護者の皆様におかれましては、応援にぜひ行きたいというお気持ちでいっぱいいらっしゃるかと存じますが、ご理解の上、お子様をご自宅等より励ましていただけたらと思います。

（右の写真は24日のバスケット部・ソフト部の練習の様子です）



行事予定[9月～10月]

月	日	曜	行事	月	日	曜	行事
9	26	土	区中体連新入大会 [野球・サッカー・バスケット]	10	4	日	区中体連新入大会(予備日)
	27	日	区中体連新入大会 [野球・サッカー・バスケット・ソフト]		7	水	筑前地区中体連駅伝大会
	29	火	学校運営協議会		10	土	区中体連新入大会[男女バレー・剣道]
10	1	木	3年生 学力診断テスト	11	日	区中体連新入大会[男女バレー]	
	3	土	区中体連新入大会 [野球・サッカー・バスケット・ソフト・陸上]	19	月	文化週間/教育実習開始	
				21	水	吹奏楽部発表会	
				24	土	筑前地区中体連ソフト大会	
				26	月	2年生 デートDV防止講演会	
			31	土	筑前地区中体連野球大会		

『やり抜く力』

校長コラム

昨年度の学校便りのコラムで紹介したことがあります。人間が成功していくときに大切な力の「非認知能力(人間の気質や性格的特徴のようなもの)」、その中でも「自制心」と「やり抜く力」が大切であるという話をさせていただきました。今日はその中でも「やり抜く力(GRIT)」について少し書かせていただきます。

アメリカの心理学者アンジェラ・ダックワースという方が書かれた「GRITやり抜く力」という本に書かれている内容です。著者が、様々な業種の方に「それぞれの業界で成功している人、挫折した人の特徴を教えてください」ということを尋ねると、共通して次のような答えがかえってきたそうです。

確かに、成功している人は「幸運と才能」にも恵まれていた。しかし、成功の要因はそれだけではない。ずば抜けた才能に恵まれながらも能力を十分に発揮しないうちに、挫折したり興味をなくしたりして辞めてしまい、周囲を驚かせる人たちもいる。そういう人たちを見ていると、成功するにはやはり「失敗してもくじけずに努力を続けること」則ち、「やり抜く力」がきわめて重要である。

そこで、著者は成功のカギとなる「やり抜く力」が強いとはどういうことかを調べていき、以下のやり抜く力の測定テスト「グリット・スケール(10項目)」を作成しました。

- 1 新しいアイデアやプロジェクトが出てくると、ついそちらに気を取られてしまう
- 2 私は挫折をしてもめげない。簡単には諦めない
- 3 目標を設定しても、すぐに別の目標に乗り換えることが多い
- 4 私は努力家だ
- 5 達成まで何ヶ月もかかることに、ずっと集中して取り組むことがなかなかできない
- 6 一度始めたことは、必ずやり遂げる
- 7 興味の対象が毎年のように変わる
- 8 私は勤勉だ。絶対にあきらめない
- 9 アイデアやプロジェクトに夢中になっても、すぐに興味を失ってしまったことがある
- 10 重要な課題を克服するために、挫折を乗り越えた経験がある

以上の10項目を5段階で「あてはまる」かどうかで合計点数を出し、平均点を出していくというものです。「やり抜く力」は「情熱」と「粘り強さ」の二つの要素からできており、奇数番号の五つは「情熱」、偶数番号の五つは「粘り強さ」を測る質問項目ということです。

なるほど、何の世界であっても確かに「成功している人」は、「情熱」と「粘り強さ」を持っているように思います。「やり抜く力」をつけるためには目標達成に向けて改善を繰り返しながら意図的な練習をしたり、最後までやり通す習慣をつけたりすることがとても大切であるとの本には書かれています。

御陵中学校の教育目標「自律貢献～夢の実現へ向けてやり抜く力と豊かな人間性を身につけ、地域・社会に貢献できる生徒の育成」にも、「やり抜く力」という言葉を入れています。よりよい人生を生き抜いていくことときに、やはりこの「やり抜く力」というのは、とても大切だと思います。夢を持ちその実現に向かっていくときには、この力を身につけておくことこそ大切だと考えたからです。目標をしっかりと持つこと、日々の努力を続けること、やり通す経験を積み重ねること・・・そんなことを通してしっかりと「やり抜く力」を高めていく必要があると思います。

さらに、「支えてくれる人との出会いが成功をもたらす」とも本には書かれています。出会いというのはとても大切です。人との出会いによって大きく人生が変わります。「一期一会」という言葉もあります。子ども達には、かけがいのない出会いを大切にしながら「GRITやり抜く力」を育ててほしいと思います。

